



国土交通省では、毎年8月を「道路ふれあい月間」として、道路を利用する方々の認識を深め、道路の役割や重要性を改めて、道路の愛護活動や道路の正しく利用の啓発を行っている。

8月は「道路ふれあい月間」

～平成30年度の主な活動状況～

い利用の啓発活動等を特に推進することとしている。こうした活動は全国で行われているが、その中から主なものを紹介する。

活動事例1..体験・見学会

《道路維持・除雪機械見学会》(建設部) 北海道開発局室蘭開発建設部では、8月29日(水)に、地元の子供たちを招き、道路事業に対する興味と関心を深めることを目的として、除雪機械の見学、水車を使う水の量は?」、「除雪は何人で行うの?」といった質問が寄せられた。

旺盛な子供たちから、「散歩バイパス(仮称)稻荷山トンネルにおいて、小中学生や保護者に道路事業への理解を深めていただくことを目的として、建設機械の見学やトンネルの作り方の説明を行った。参加した親子から、「大きな重機にも乗せていただき、子供も喜んでいました。」「夏休みの良い経験になりました。感想が寄せられた。

《体験!!キッズバトロール》(四国地方整備局松山河川国道事務所) 四国地方整備局松山河川国道事務所では、8月4日(木)に、宮古市内において、道路に対する市民の関心と道路愛護の精神の啓発を目的に、宮古道路をまもる会(会長:宮古市長)の主催する市内中心部の道路のゴミ拾いと「道路ふれあい月間」の街頭宣伝パレードに参加した。当日は晴天

東北地方整備局三陸国道事務所では、8月2日(木)に、宮古市内において、道路に対する市民の関心と道路愛護の精神の啓発を目的に、宮古道路をまもる会(会長:宮古市長)の主催する市内中心部の道路のゴミ拾いと「道路ふれあい月間」の街頭宣伝パレードに参加した。当日は晴天

中部地方整備局沼津河川国道事務所では、8月21日(火)に、地域の親子で楽しく、散歩デモンストレーションを行った。好い印象を受けた。」「来年も是非キックオフを行いたい」といった感想が寄せられた。

《夏休み親子見学会》(中部地方整備局沼津河川国道事務所) 国道事務所では、8月4日(木)に、松山第一国道維持出張所において、地域の皆さんに道路をまもる仕事を通じて、道路とふれあい、道路の役割や重要性を改めて、道路の愛護活動や道路の正しく利用の啓発を行った。当日は、行政、周辺の企業に加えて、ボランティア団体、地域の参加者が集まり、「道路

路において、道路の空き缶・ゴミ拾いを行った。昭和61年から数えて32回目の開催となる今回のクリーン作戦は、快晴の空の下、約100名の参加者が集まった。解散式では、参加された方が「来年もこの日この場所でがんばりましょう」と気勢を上げた。

《道路愛護功労者表彰式》(近畿地方整備局大阪国道事務所、中国地方整備局広島国道事務所、沖縄総合事務局) 近畿地方整備局大阪国道事務所では、8月10日(金)に、道路の美化・清掃や愛護活動に長年取り組んでいた団体等に対して感謝の意を表し、感謝状の贈呈式を開催した。受賞者は、「団体構成員の高齢化が悩みの種ですが、これからも頑張って続けていきたい」と力強い抱負が述べられた。

また、沖縄総合事務局では、8月21日(火)に、道路の美化清掃や道路愛護に関する活動に取り組んでいた団体等に対しても感謝の意を表し、表彰状の贈呈式及び懇談会を開催した。受賞者からは、「我々が活動することで、ごみが捨てるにくい環境を作れれば」ともこの活動を継続して社会貢献していきたい」とのコメントが述べられた。

九州地方整備局佐伯河川国道事務所では、8月28日(火)に、日本文理大学附属高等学校の体育館において、「成長の足跡」で最優秀賞(一般の部)を受賞された宮邊幸平さんへの表彰式を行った。宮邊さんから、「す

